

# 回復期機能病床整備事業への参画

平成30年6月21日

佐賀県地域医療構想調整会議 中部構想区域分科会

医療法人啓仁会 橋本病院

理事長 花田 啓一郎

# 1. はじめに

診療科目：外科、内科、胃腸内科、整形外科、肛門外科、呼吸器内科  
内視鏡内科、リハビリテーション科、消化器外科・内科、糖尿病内科

病床数：一般病床40床



**佐賀県神崎市神埼町本告牟田3005番地**

**神崎市の中心部に位置し約半世紀に亘り、この地の「かかりつけ医」として地域医療に貢献しています。**

## 2. 病院機能の転換への経緯

- 平成29年8月上旬  
定期理事会において、次の事項を決議
  - ① 事業計画と収支予算の件
  - ② 事業計画の中に病院建替え計画を策定
- 平成29年11月上旬  
臨時理事会において、「病院建替え計画書の策定」を決議
  - ① 「効率的で質の高い地域医療提供の体制の構築」に向け、病院の建替え新設を実施し、医療環境の改善を図る。
  - ② 前号のため、急性期から回復期へ病床機能を転換を実施する。
- 平成30年1月下旬  
佐賀県の回復期機能病床整備事業に申請書(仮)を提出

### 3. 病床転換の背景

#### 【診療報酬関連】

- ・在宅復帰の促進
- ・後方病床の充実
- ・医療、介護連携の促進



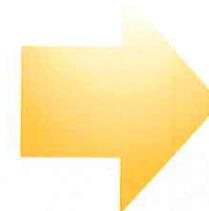
地域の医療機関や介護施設との綿密な連携が不可欠

#### 【地域医療構想関連】

- ・病床機能の適正化
- ・病床削減の動向強化
- ・在宅医療等の需要を考慮



地域における役割の明確化や患者の在宅生活の継続を考慮



「地域」を視野に入れた病院運営

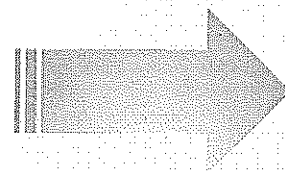
## 4. 今後の予定

- 平成31年中旬頃（平成32年2月～3月頃竣工予定）  
現在の橋本病院の病院機能の転換、および老朽化への対応として、隣接敷地に新病院を建設し、機能を整備する。
- 医療介護連携  
地域医療の役割を果たすため、医療と介護の連携を強化し、在宅医療介護連携相談窓口および通所リハビリテーションを併設する。
- 今後の機能  
佐賀県の地域医療構想に沿って「回復期」機能を中心とした医療を地域へ展開する。

## 5. 病床転換の計画

(平成32年度以降)

現 状
一般病床(13対1) 40床 【亜急性期】
合 計 40床



再 編
一般病床(13対1) 20床 【亜急性期】
地域包括ケア 20床 【回復期】
合 計 40床

- ・ 亜急性期を20床削減し20床とし、回復期(地域包括ケア病床)を20床とする。

## 6. まとめ

- 全体的に今後不足が予想されている「回復期」機能の病床を増やし、急性期からの受け皿の機能を拡充する。
- 地域包括ケアシステムの強化を図るため、病院に「地域医療連携室」を新たに設置し、地域医療体制の連携強化を推進する。
- 今後は、在宅医療の重要度が増すことに鑑み「在宅医療介護連携相談窓口」の充実を図り、在宅患者の日常の療養支援や緊急時の対応が出来る支援体制を強化する。
- 以上の取組により、医療・介護を一体的に提供できる「地域支援型医療提供」を目指し、当病院の機能をより明確にするとともに、継続可能な医療体制の構築を図る。